

》商工会議所活用レシピ



ケーエスケーが開発した消防の世界を変えるかもしれない
新型の消防用ノズル「からくりノズル」

優れた技術を生かし 下請けからの脱却を目指す

株式会社ケーエスケー

代表取締役 楠 健治郎さん(右)

専務取締役 伸治さん



当社は、自動車関連部品の量産や試作加工、プラスチックの精密切削加工などを行っています。また、熱源さえあれば作動し、排気を出さず、低騒音・低振動であるため、注目を集めているスターリングエンジンの開発も手掛けています。

現在のメイン商材である自動車

車ライン用塗装スプレーガンにおいては、当社がつくったものがかなりのシェアを占めています。でも、やはりいろいろな意味で下請け仕事は大変です。ですから、自社商品を開発し、何とか「脱下請け」をしたいと思っていますし、受託開発もしていきたいです。

実際、地域の中小企業が頑張っている商品をつくっても、情報がうまく伝わらず、なかなか商売につながりません。昨年、初めて安城商工会議所が「EXPO ANJO 2013」という展示会を地元・安城市で開催してくれました。地方の中小企業は、なかなか展示会に出展しようと思わないものです。ましてや東京や名古屋の展示会に出る

のは、大きな決断が必要です。その意味でも地元から情報を発信する場をつくってくれたのにはありがたかったですね。また、そこで自動車の下請け以外のことに取り組んでいることを評価してくれ、「安城スゴい会社大賞」の優秀賞をいただいたのも励みになりました。

商工会議所とは創業以来の長い付き合いです。初めて行ったのは私がサラリーマンを辞めて、創業したとき。税務や運転資金を相談したくてもどこも相手にしてくれませんでした。そんなとき、商工会議所という存在に頼りになりました。

今後、商工会議所には販路マーケットの調査、こういった助成金があるかなどを教えてほしいです。本業が忙しいため、なかなか自分で探すのは難しいですが、役に立つ助成金や制度などはうまく活用したいと思っています。商工会議所の二村さんは、うちに必要な情報を先回りして教えてくれるので非常に助かっています。これからぜひ力を貸してほしいですね。

》ご相談は最寄りの商工会議所までお気軽にどうぞ！

担当者からひと言



安城商工会議所（愛知県）
二村 康輝

昨年、初めて商工会議所主催で安城市産業界の総合展示会「EXPO ANJO 2013」を開催しました。地域の中小企業は大部分が展示会に出たことがありません。ですから、展示会に関する基本的なこともご存知ないわけです。今年も12月に開催し、情報提供しますので、ぜひ出展いただき、ノウハウを吸収してほしいですね。

ケーエスケーさんには、これからも革新的な挑戦を続けていただきたいです。そして、困ったとき、商工会議所が最初に相談する存在でありたいと思います。また、「挑戦する企業」がどんな支援策を必要としているのかを現場で吸い上げたいです。有効な情報をタイムリーに提供し、「頼りになる商工会議所」を目指していきたいですね。